

製品安全データシート

会社名: コダック株式会社
 担当部門: コンシューマービジネス事業部
 所在地: 東京都千代田区神田駿河台2-9 (〒101-0062)
 電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2253

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒110番】
 (事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
 9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤルQ2有料)
 又はダイヤルQ2を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
 これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤルQ2有料)
 又はダイヤルQ2を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.000000012110/Version: 1.5

承認日: 2007年10月29日

作成日: 2007年12月21日

1	製品名	コダック プロフェッショナル フィクサー アンド リプレニッシャー LORR, プロセス E-6 AR		
		CAT No.198 9649	AR 5ガロン キュービテナー入り	
		32.5ガロン用(ハンガータイプ) / 35ガロン用(ローラートランスポートタイプ) / 41.7ガロン用(両タイプのタンク液)		

2	危険・有害性の分類	亜硫酸ナトリウム, チオ硫酸アンモニウム, 亜硫酸アンモニウム, 重亜硫酸ナトリウムを含有。 飲み込むと有害。眼の炎症となる。二酸化硫黄を放出する恐れがある。残留物が乾燥すると還元剤として作用する。		
---	-----------	--	--	--

3	物質の特定	混合物			
		成分	重量%	CAS No.	
				PRTR政令番号	
		チオ硫酸アンモニウム	50-52	007783-18-8	
		水	30-40	007732-18-5	
		亜硫酸アンモニウム	1-5	010196-04-0	
		重亜硫酸ナトリウム	1-5	007631-90-5	
		亜硫酸ナトリウム	1-5	007757-83-7	
		エチレンジアミン四酢酸 (EDTA)	<1	000060-00-4	第一種47号

4	応急措置
吸入した場合	: 症状が出たら、空気の新鮮な場所へ移動する。症状が続くならば、医療手当てを受ける。
眼に入った場合	: 直ちに、多量の水で15分以上洗浄し、医療手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 水とセッケンで洗い、症状が出たら、医療手当てを受ける。
誤飲した場合	: 医師の指示に従い吐く。被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。直ちに医師に連絡する。
5	火災時の措置
消火手段	: 水スプレー、二酸化炭素 (CO ₂)、粉末消火剤
火災時の特別対応手段	: 保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により、危険な分解物質を生じることがある。
有害燃焼物質	: 二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物
異常火災／爆発の危険性	: 乾燥した残留物は、還元剤として作用する。酸化剤と激しく反応する。可燃性のある多孔質の物質 (例、ぼろ布、紙、のこぎりくず、木綿、衣類) に吸収されると自然加熱と発火の原因となるおそれあり。
6	漏出時の措置
	多量の水で洗い流すか、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分に拭きとる。
7	取扱い及び保管上の注意
取扱い	: 適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。
火災や爆発の防止	: 酸化物質に接触させない。
保管	: 密栓して保管する。不適合物質から離して保管する。
8	暴露防止措置
許容濃度	: ACGIH (TLV) メタ重亜硫酸ナトリウム : 5mg/m ³ TWA 二酸化硫黄 : 2mg/m ³ TWA 5mg/m ³ Short term exposure limit OSHA (USA) (PEL) 二酸化硫黄 : 5ppm
換気	: 換気の良い場所で取扱う (10 air changes / 時間)。換気率は使用条件に適合しなければならない。
取扱い	: 眼への付着を防止し、皮膚への付着、吸入を最小限にする。
呼吸器系の保護	: 必要なし
眼の保護	: 眼への付着を最小限にする。側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡を着用する。
皮膚の保護	: 皮膚への付着を最小限にする。長時間、あるいは繰り返し皮膚に付着するような操作では、不浸透性の手袋を着用する。
浄化する設備	: 洗眼、身体洗浄の設備 (シャワー) を推奨する。

9	物理・化学特性
<p> 外観 : 液体 色 : 無色 臭気 : 無臭 沸点 : >100°C 蒸気圧 : 24mbar(18mmHg) / 20°C 蒸気密度(空気 = 1) : 0.6 揮発留分(重量) : 35-40% 比重(水 = 1) : 1.37 pH : 6.2 水溶性 : 完全 引火点 : なし(不燃性液体) </p>	
10	危険性情報(安定性・反応性)
<p> 安定性 : 安定 不適合物質 : 強酸、塩基、次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)、強酸化剤、ハロゲン化合物。強酸と接触すると二酸化硫黄を遊離する。次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)と接触するとクロラミン(中毒性ガス)を形成する。塩基と接触すると可燃性物質およびアンモニアが発生する。 危険分解物質 : アンモニア、二酸化硫黄、クロラミン、窒素酸化物(NOx) 危険重合物質 : 知見なし </p>	
11	有害性情報(暴露の影響)
<p> 吸入 : 通常取扱いは、危険性は少ない。喘息あるいは過敏症の人は、通常の手扱で発生しないエアゾールや分解物質に曝されると、呼吸困難を起こすかもしれない。 眼 : 炎症を起こすことがある。 皮膚 : 通常取扱いは、危険性は少ないが、感作性が報告されている。 誤飲 : 飲み込むと有害。喘息あるいは亜硫酸塩過敏症の人は、喘息症状、息苦しさ、胃の不快感、発疹、失神、虚弱、下痢を起こすかもしれない。 </p>	
<p> 急性毒性情報 重亜硫酸ナトリウム(CAS 007631-90-5) 経口 LD50(ラット) : >1,600mg/kg 亜硫酸アンモニウム(CAS 010196-04-0) 経口 LD50(ラット) : 2,528mg/kg 経口 LD50 : 1,904mg/kg 吸入 LC50(ラット) : >2.46mg/l / 6 時間 皮膚 LD50 : >1,000mg/kg 皮膚刺激 : 軽度 亜硫酸ナトリウム(CAS007757-83-7) 経口 LD50(ラット) : >1,600mg/kg 皮膚刺激 : なし 眼刺激 : 軽度;洗淨により症状を和らげられる </p>	

12 環境影響情報

(この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。)

本品の主成分に関するデータに基づいて本品の環境へ及ぼす影響を推測していますが、実際には試していません。以下の特性は、予測に基づいたものです。

予測される有害性	:	
魚 LC50	:	>100mg/L
ミジンコ EC50	:	>100mg/L
海藻 IC50	:	>100mg/L
生分解性有機物	:	なし
COD(概算)	:	327g/L
BOD(概算)	:	267g/L

13 廃棄時の注意

特別管理産業廃棄物に該当しない。

自社で廃水処理設備を所有していない場合には、全量を回収した上で専門の廃液処理業者に委託して処理する。

廃棄時に該当する法規

廃棄物処理法(廃酸)

水質汚濁防止法 : 生活項目

下水道法 : 下水の排除の制限

14 輸送上の注意

Air Transportation	:	_____
Class	:	_____
国連番号(UN Number)	:	_____
Proper shipping name	:	_____
Subsidiary risk	:	_____
Packing group	:	_____
Passenger aircraft	:	_____
Cargo aircraft only	:	_____
Further information	:	_____

15 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	:	エチレンジアミン四酢酸(第一種47号)
毒物劇物取締法	:	_____
労働安全衛生法	:	_____
消防法危険物分類	:	_____

16 その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取り扱いには十分注意して下さい。